

厚木精華園生活2課における新型コロナウイルス感染症 の発症にかかる報告書

社会福祉法人かながわ共同会
厚木精華園・同園対策会議

目 次

1	感染者の状況	1
2	経 過	2
3	ゾーニングについて	8
4	感染症後の支援等運営について	8
5	検証結果	9
6	参考資料	15

当園生活2課での令和2年12月11日以降の新型コロナウイルス感染症の感染にかかる経過等について、次のとおり報告します。また、感染拡大防止や再発防止等については、県コロナクラスター対策チーム C-CAT の助言や所管保健所の指導の下、徹底したゾーニングや三密を意識した行動をとると同時に、正しいマスク着用・丁寧な手指消毒・正しい防護服等着用の徹底を行いました。

併せて、法人・各園及び関係者の皆さんからの職員派遣・心の応援物資など具体的な支援等をいただき、感染寮の感染対策や感染拡大防止等に取り組めたことにも感謝しつつ報告させていただきます。

1 感染者の状況

感染者の状況は次表のとおりであり、感染者は利用者 16 名（うち 8 名入院治療・8 名園内治療）・職員 10 名（うち 1 名入院治療・9 名自宅等治療）・計 26 名であった。

また、感染者数は 12 月 21 日 (24 名) をピークに、感染からほぼ 1 ケ月 (1 月 14 日) で感染症対応解除となった。

月 日	利用者		職 員		合 計	
	当日数	延人数	当日数	延人数	当日数	延人数
12/11	1 (1)	—	1	—	2 (1)	—
12/13	8 (1)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	11 (2)	13 (3)
12/14	(1)	9 (3)	—	4 (1)	(1)	13 (4)
12/15	4	13 (3)	2	6 (1)	6	19 (4)
12/16	(1)	13 (4)	1	7 (1)	1 (1)	20 (5)

12/17	(2)	13 (6)	—	7 (1)	(2)	20 (7)
12/18	2	15 (6)	1	8 (1)	3	23 (7)
12/21	—	15 (6)	1	9 (1)	1	24 (7)
12/22	①	14 (5)	②	7 (1)	① ②	21 (6)
12/24	①	13 (4)	—	7 (1)	①	20 (5)
12/25	⑥	7 (4)	①	6 (1)	⑥ ①	13 (5)
12/26	—	7 (4)	①	5 (1)	①	12 (5)
12/27	—	7 (4)	①	4 (1)	①	11 (5)
12/28	② ①	4 (2)	①	3 (1)	② ① ①	7 (3)
12/29	1	5 (2)	1 ①	3 (1)	2 ①	8 (3)
12/30	(1)	5 (3)	①	2 (1)	(1) ①	7 (4)
12/31	—	5 (3)	① ①	1	① ①	6 (3)
1 / 1	(1)	5 (4)	—	1	(1)	6 (4)
1 / 2	①	4 (4)	—	1	①	5 (4)
1 / 7	①	3 (3)	①	0	① ①	3 (3)
1 / 8	①	2 (2)	—	0	①	2 (2)
1/14	①	1 (1)	—	0	①	1 (1)

() は入院者数・○数字は退院数・□数字は職場復帰数・①数字は感染隔離解除された通常支援数を表す。

なお、感染症の治療は終了したが、基礎疾患の治療のため利用者1名が転院治療中である。

2 経 過

〔12月11日〕

- 生活2課利用者（1名）が抗原検査で陽性と診断され湘南鎌倉総合病院イノベーションセンターに入院。併せて職員（1名）がPCR検査を受け12/11に陽性と診断され自宅待機となる。

…利用者は前日より発熱があり12/11に園診療所内科を受診。発熱と採血結果が悪く医療機関通院し検査結果が陽性と診断。職員は発熱等風邪症状があり医療機関受診し12/11に陽性と診断。

- 法人事務局、法人各園長、県障害サービス課（以下「県サ課」）、家族会長に状況報告をする。併せて、感染した利用者の家族に電話連絡する。
- 園内対策本部設置。経過、対策等を協議し、職員への周知を行う。
- 生活2課のゾーニング、備品等搬入、消毒を実施し、生活介護事業は休止とする。併せて、県サ課にN95マスク等物資依頼する。
- 生活2課の食事を使い捨て食器に変更し、昼食から提供する。
- 厚木保健所（以下「保健所」）より、クラスター想定した対応の指示を受ける。併せて、生活2課利用者（33名）・職員（26名）・看護師（5名）合計65名のPCR検査実施の連絡ある。生活1・3課は通常通りの対応を確認する。

- ALSOK メールによる新型コロナウイルス感染症の発症、ゾーニング等対応策を職員周知する。
- PCR 検査の検体を保健所に提出する。

〔12月12日〕

- 園内対策本部会議開催。…毎日2回開催（9：00・16：00）し、感染等病状確認・職員体制・対応策等共有し、園ゲストハウス・生活2課休憩室を職員宿泊場所とする。
- 法人対策本部会議開催（オンライン・第1回）…経過・感染等状況・ゾーニング等対応策・物資・関係者等周知等について共有する。
- 生活2課の家族に感染の経過等電話連絡する。併せて全園の家族・後見人宛に「感染症の発症について」の通知発出する。（別紙1）
- 法人職員、関係者への「感染情報（第1報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-1）・法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 県知的福祉施設協会長、厚木地区施設長会に「感染情報（第1報）」を電話連絡する。
- 生活2課の食事を使い捨て食器からお弁当に変更し、朝食から提供する。

〔12月13日〕

- 園内対策本部会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 保健所よりPCR 検査結果は、利用者7名・職員2名・合計9名が陽性との結果連絡がある。陽性利用者の医療機関確保は保健所窓口で、陰性利用者の医療機関は園対応での調整となる。陽性利用者は「夜間急変時等緊急連絡先（コロナ 119）電話 045-285-1019」も活用となる。
- 検査結果を法人事務局、県サ課、関係機関に電話連絡する。
- 保健所より県コロナクラスター対策チームの派遣調整中と連絡がある。
- 職員（1名）が東海大学病院受診し陽性診断で入院と連絡がある。
- 利用者（1名）が発熱等で受診し、検査結果、陽性で海老名総合病院に搬送される。
- 職員（2名）は園ゲストハウス宿泊とする。

〔12月14日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図り、「職員の皆さんへ」の園長メッセージを配布・レインボーネットに配信する。（別紙3）
- 法人職員、関係者への「感染情報（第2報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-2）・法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 利用者（1名）が湘南鎌倉総合病院に搬送される。
- 県コロナクラスター対策チームC-CAT が来園し、感染者等現状確認・ゾーニング等対応策・マスク等物資の確認があり、生活2課陰性利用者7名・園宿泊職員4名・合計11名のPCR 検査の指導を受ける。併せてN95 マスク等物資の調達依頼する。
- 県知的福祉施設協会長、厚木地区施設長会に「感染情報（第2報）」を電話連絡・メール配信する。

〔12月15日〕

- 園内対策本部会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- PCR 検査の検体（利用者7名・職員4名・合計11名）を保健所に提出する。
- 県よりN95 マスク等物資を受領する。

- 県より施設入所支援の利用者・職員・出入り業者全員の PCR 検査実施の連絡を受け、保健所と調整する。
- 保健所より検査結果、陽性（利用者 4 名・職員 2 名）の連絡がある。
- 法人事務局、県サ課、職員の検査結果を連絡する。職員配置にかかる生活 2 課のシフト調整を行う。
- PCR 検査の全員実施について、法人事務局に連絡する。

〔12 月 16 日〕

- 法人職員、関係者への「感染情報（第 3 報）」を法人事務局に配信する。（別紙 2-3）
法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 園内対策本部会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。施設入所支援の利用者・職員・出入り業者全員の PCR 検査を実施（12/17）となる。
- 厚木地区施設長会に「感染情報（第 3 報）」をメール配信する。
- 保健所より陽性診断とされた職員の自宅待機期間は、「発症から 10 日間」と指導を受ける。
- 法人事務局守部長より、職員宿泊先を「ホテルルートイン伊勢原」が確保でき、使用可能と連絡ある。職員（3 名）の利用希望あり。
- 法人事務局へ、法人各園への支援員・看護師の派遣依頼をする。
- 利用者（1 名）が湘南藤沢徳洲会病院へ搬送される。

〔12 月 17 日〕

- 利用者（1 名）が北里大学東病院へ搬送される。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 県サ課にガウン等物資の調達依頼する。
- 法人運営会議にオンライン参加し、感染状況等の報告を行い、法人対策本部会議開催（オンライン・第 2 回）…経過・感染等状況・ゾーニング等対応策・物資・関係者等周知・法人各園の職員派遣等について報告する。
- 保健所等による施設入所支援の利用者・職員・出入り業者全員の PCR 検査（利用者 86 名・職員 97 名・業者 21 名・合計 204 名）を実施する。（別紙 4）
- 利用者（1 名）が湘南鎌倉総合病院イノベーションセンターへ搬送される。
- 陽性感染職員 6 名〔発熱・味覚臭覚なし等で重症者なし、医療機関入院者以外〕の現状確認をする。

〔12 月 18 日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。法人他園からの応援職員（12/21～25・7 名派遣予定）の確認を行う。
- 職員 1 名（12/11 陽性）から症状改善し 12/22 より職場復帰可能と連絡がある。
- 保健所より検査結果、陽性（利用者 2 名・職員 1 名；全員生活 2 課所属・業者 1 名・合計 4 名）の連絡がある。法人・園の幹部職員へメール配信する。
- 秦野精華園より感染対策用「ビニールシート」の寄附が届く。

〔12 月 19 日〕

- PCR 検査の結果を受検者に連絡し、生活 2 課のシフト調整等行う。併せて、法人事務局・県サ課に結果報告を行う。

- 法人職員、関係者への「感染情報（第4報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-4）
法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 厚木地区施設長会、厚木市等関係機関に「感染情報（第4報）」を配信する。
- 法人事務局でルートイン伊勢原に職員（1名）宿泊手配を行う。
- 秦野精華園職員親睦会より「心の応援物資（カップラーメン 600食・ペットボトル 650本）」が届く。
- 「厚木精華園での新型コロナウイルス感染と今後の対応について」（別紙5）を、法人全職員対象に理事長メッセージを発出（「法人お知らせ」に掲載）する。

〔12月20日〕

- 県サ課より、土・日曜日についても利用者状況等定時報告の依頼ある。
- 利用者、職員ともに新たな症状等みられず、通院等の必要がないことから夕方の園内対策会議は開催せず。
- 法人事務局でルートイン伊勢原に職員（1名）の宿泊調整を行う。
- 法人事務局で厚木精華園に派遣した職員を対象に、派遣終了後のPCR検査を実施することになり、検査キッドは法人事務局で管理する。

〔12月21日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。併せて、職場復帰職員や入院利用者の退院調整等を行う。
- 法人各園からの応援職員（支援員6名・看護師1名）が到着し、オリエンテーション後、各所属課で業務開始（12/21～25）となる。
- 保健所より、感染していない寮の利用者の陽性（12/18）を受け、残りの利用者のPCR検査を12/24実施で調整中と連絡がある。

〔12月22日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 利用者1名（12/11陽性で入院）が退院し、生活2課の生活に戻る。また、職員2名（12/11陽性・12/13陽性）が職場復帰し生活2課で勤務する。
- 県福祉部長（玄関で名刺交換のみ）・県障害サービス課長が激励のため来園し、経過等説明した後、生活2課の現場をクリーンゾーンから視察。園内対策会議で挨拶があった。

〔12月23日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。法人他園からの派遣終了職員のPCR検査の実施を共有する。
- 法人事務局守部長が、法人他園からの派遣終了職員のPCR検査キッドを持参し、園内対策会議で報告する。（別紙6）
- 県サ課より、ガウン等支援物資が届く。

〔12月24日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 法人運営会議にオンライン参加し、感染状況等の報告を行い、法人対策本部会議開催（オンライン・第3回）…感染者等状況・職員の宿泊先（ホテル）の確認・法人他園

からの応援体制・派遣終了、園発症収束後の PCR 検査・従事者手当・労災関係等について協議する。

- 利用者 1 名（12/13 陽性 12/17 入院治療）が退院し、生活 2 課の生活に戻る。
- 生活 2 課の感染していない寮利用者（16 名）の PCR 検査の検体を保健所に提出する。
- 利用者 1 名（12/13 陽性 12/16 入院）の退院見通しが立ち、12/28 に退院予定となる。
- 法人各園からの応援職員のうち、支援員 1 名が派遣終了となる。

〔12 月 25 日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 利用者 6 名（12/13 陽性 4 名・12/15 陽性 3 名）が感染隔離解除となり通常支援となった。併せて職員 1 名（12/13 陽性）が職場復帰となった。
- 利用者 2 名（12/13 陽性 12/14 入院・12/15 陽性 12/17 入院）の退院見通しが立ち、12/28 に退院予定となる。
- 職員 1 名（12/13 陽性）が自宅待機解除となり復帰可能となる。
- 法人各園からの応援職員のうち、支援員 5 名が派遣終了となる。
- PCR 検査（感染していない寮の利用者 16 名）の結果は全員、陰性と保健所より連絡がある。

〔12 月 26 日〕

- 職員 1 名（12/15 陽性）が自宅待機解除となり復帰可能となる。

〔12 月 27 日〕

- 利用者 1 名（12/13 陽性 12/16 入院）が 12/28 に退院予定であったが発熱があり退院延期となる。利用者 1 名（12/18 陽性）が感染隔離解除となり通常支援となる。
- 職員 1 名（12/18 陽性）が職場復帰となり、職員 1 名（12/13 陽性：入院治療中）が 12/31 退院予定、職員 1 名（12/18 陽性）が 12/27 で自宅待機解除の連絡がある。

〔12 月 28 日〕

- 利用者 2 名（12/13 陽性 12/14 入院・12/15 陽性 12/17 入院）が退院し、利用者 1 名（12/18 陽性）が感染隔離解除となる。
- 職員 1 名（12/16 陽性）が職場復帰となる。
- 法人が購入した PCR 検査キットを対象職員に配布（12/28～29）し、検査結果の報告を周知する。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図り、年末年始の対応等確認する。

〔12 月 29 日〕

- 利用者 1 名・職員 1 名が陽性と診断される。
- 職員 1 名（12/21 陽性）が職場復帰となる。

〔12 月 30 日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図り、年末年始の対応等確認する。併せて、生活介護事業・清掃業者の業務再開を 1/11 まで中止とする。
- 利用者 1 名（12/29 陽性）が厚木市立病院に入院となる。
- 職員 1 名（12/15 陽性）が自宅静養解除となる。

〔12月31日〕

- 職員1名（12/16 陽性・入院）が退院となり、肺炎併発のためCT検査を1/4に受ける予定となる。

〔1月1日〕

- 利用者1名（12/18 陽性）が湘南鎌倉総合病院イノベーションセンターに入院となる。
- 法人が購入し実施したPCR検査結果は、職員1名（12/29 陽性）以外は、全員陰性と最終確認する。
- 介護保険事業所「ひかりデイサービス」より事業所有志による慰労金の寄附を受ける。

〔1月2日〕

- 利用者1名（12/18 陽性・湘南鎌倉総合病院イノベーションセンター入院）が病状急変し横浜医療センターに転院する。
- 利用者1名（12/15 陽性）が感染隔離解除となる。

〔1月4日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。併せて、感染者の状況が、利用者4名（4名入院治療）・職員1名（自宅待機）となったため、新たな感染者が出ない限り毎日開催している「朝の会」で感染状況・対策等の情報共有等を行うことにする。

〔1月5日〕

- 法人職員、関係者への「感染情報（第5報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-5）・法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 労基署に新型コロナウイルス感染症感染による労働者死傷病報告書の提出、及び給付金請求について確認する。
- 生活1課職員1名が風邪症状あり医療機関でPCR検査を受け、同利用者1名が高熱が続き、血液検査の結果から診療所内科医の判断で感染の可能性が高いと判断し、即座に生活1課をゾーニング等感染症対応をとる。

〔1月6日〕

- 生活1課職員の昨日の検査結果は陰性と連絡がある。また、同利用者1名が医療機関を受診しPCR検査を受ける。

〔1月7日〕

- 生活2課利用者1名（12/13 陽性 12/16 入院）が退院し、生活2課の生活に戻る。また、同職員1名（12/29 陽性）が職場復帰する。
- 診療所内科医に生活2課の感染等状況を報告し、今後の対応を相談する。生活2課での最終発症日（12/28 発症 12/29 陽性）から14日間経過する1/12より通常運営とし、感染対応解除後もフェイスシールド・マスク着用は継続との助言を得る。
- 法人運営会議にオンライン参加し、感染状況等の報告を行い、法人対策本部会議開催（オンライン・第4回）…感染者等状況・職員の宿泊先（ホテル）の確認・従事者手当・労災関係等について協議する。

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。併せて、生活2課の感染対応解除（1/11）、園内職員応援終了（1/8）、緊急事態宣言再発令を受けた対応策等の検討を行う。
- 生活1課利用者の昨日の検査結果は陰性と連絡がある。

〔1月8日〕

- 生活2課利用者1名（12/29 陽性 12/30 入院）が退院し、生活2課の生活に戻る。
- 当園内科医との今後の対応等について調整した結果に基づき、厚木保健所に生活2課の感染症対応解除（1/11）について相談する。

〔1月11日〕

- 厚木保健所より、生活2課の感染症対応解除は1月14日との回答を得る。

〔1月14日〕

- 法人運営会議・法人危機管理対策本部会議において、本日より生活2課の感染症対応解除を報告し、了解される。
- 法人職員、関係者への「感染情報（第6報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-6）
法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。

3 ゾーニングについて

ゾーニングについては、当園診療所医師の指導により、昨年4月の緊急事態宣言発令時から、園内の利用者・職員が可能な限り交わらないように、生活課単位の支援から寮単位での支援に変更した。

また、生活2課で感染が起きた12月11日に、「厚木精華園での新型コロナウイルス感染症にかかる対応手順」により、ゾーニングを行った（別紙7）。

その後、当園診療所内科医に直接、生活2課の各寮の現場でのアドバイスにより改善した点は、①各寮の出・入口を明確に分けること ②防護服等の着衣場所・脱衣場所を明確に分け、クリーンエリアを設置するであった（別紙8-1）。

4 感染後の支援等運営について

生活2課での感染後の対応については、当園診療所内科医・厚木保健所、及び県コロナクラスター対策チームC-CATの指導・助言により次のとおり対応した。

（1）当園診療所内科医から

- 感染した生活2課での支援の際は、フェイスシールド・ヘアーキャップ・N95マスク（サージカルマスクの二重使用）・使い捨てガウン・手袋を着用とすること。感染しなかった他セクションの職員は、フェイスシールド・マスク着用による支援を行う。
- また、感染しないため医療従事者の暴露の「リスク評価表」を下に、感染対策をすること。また、各支援現場では、ウイルスを拡散させないように「フェンテ側食堂出入口」と「職員室出入口」は閉鎖し、可能な限り寮職員配置を固定すること。そして、ゴミの取扱いについては、感染ゴミとし別途取扱うこと。そのため、感染症

対応の専門業者よりゴミ箱を購入し、感染症専用ごみ処分場を設置対応した。

- 利用者の発熱に対しては、解熱剤での対応の対処療法のみで、急変リスクが高いため、サチュレーション低下など利用者一人ひとりの体調管理を丁寧に行うよう指示があり、別紙「経過表」により所管保健所や「コロナ119」との入院調整等に活用した。
- 退院後の各利用者の静養解除や職場復帰職員の配置寮の確認を行い対応した。

(2) 厚木保健所から

- 感染リスクが高いため利用者の食席は、ある程度距離（2 m）をとり食事支援を行うこと。
- 陽性者の入院調整の際は、病院より延命措置の有無等の問合わせがあるので事前確認しておくこと。また、事前に園で作成していた利用者の「疾患リスト」を基に、保健所等との入院調整を行う。
- 感染した課内での利用者の感染リスクを減らす為、可能な限り居室対応とすること。
- 陽性となった利用者は、一つの寮対応とし、利用者・職員の往来を原則なくすこと。また、陽性反応のあった職員については、14 日前からの行動履歴把握をすること。
- 各関係機関への感染症集団感染時に報告する「感染症個別調査シート」を、毎日メール送信して情報の共有化を図り、所管保健所及び当園担当の窓口を一本化し情報共有を図り、対応のスピード化を図った。

(3) 県コロナクラスター対策チーム C-CAT から

- 利用者はウイルスに暴露していて、発症率が非常に高い。結構なウイルス量を浴びていると思われる。無症状の利用者も殆どいないので、これから発症する利用者もいる。高齢者は急に悪くなったりすることもある。食事が進まない、水分がとれない、普段と様子が違う、元気でもサチュレーションが落ちている人は要注意、変化がある時は1～2時間で急に息が切れたりすることもあるので、そこを見逃さないようにするとよい。
- 発症していない寮でも、職員同士がどの程度交流があるか不明で、密の交流がある場合は拡大が懸念される。職員同士の交流度合いにもよるが、これから発症する方もいる。感染しないために一番大切なのはマスクがきちんとつけられているか、マスクのつけ方が大事である。N95 マスクをつけた後、息を吐いて、マスクの周りから息が漏れていないのが正しい着け方であること。
- 食事中の会話は厳禁で会話する時はマスク着用とし、食事の席は隣と2 m以上空けること。
- 他部署からの応援職員は、しっかりと感染対策がなされていれば、応援後2～3日で所属職場に戻って構わない。

5 検証結果

(1) 利用者支援について

- 感染した生活2課利用者の陽性者を原則、個室対応とし、可能な限り職員も支援する寮固定化も行った。
- 感染症対応解除まで新型コロナウイルス感染症に罹患する恐怖を感じながらの支援であり、緊急時でのゾーニングの不便さ、閉鎖状態での利用者のストレスを心配

しての支援となった。

- 県コロナクラスター対策チームのアドバイスのとおり、実際に感染した利用者支援についたが、正しいN95マスク、フェイスガード、丁寧な手指消毒・正しい防護服等着用の徹底で感染しないことを実感した。併せて、利用者については、マスク着用困難、居室での対応困難な方も多く、利用者同士の感染予防は非常に困難であると感じた。
- ゾーニングの中で精一杯頑張ったが、十分に入浴ができず皮膚の爛れ、脂漏性湿疹の悪化等散見され、衛生面（清拭のみ）で少し不安を感じた。
- 陽性の利用者が高齢で基礎疾患があるなかでもなかなか入院できず、園内での治療は先の見えない不安と限界等を感じながらの対応となり、感染拡大のリスクが高くなったと思われる。また、利用者が退院する際の受入れ判断など情報共有も十分ではなかった。
- 感染が生活2課にとどまったことは、大きな成果であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染を優先せざるを得なくなり、基礎疾患への治療に影響を及ぼし、現在も1名の利用者が入院加療中であることは残念である。
- 生活介護事業サービスを受けているグループホーム利用者は、各グループホーム待機となったが、2週間を過ぎるあたりからストレスを感じ不満を訴える利用者が増え始めた。また、日中支援課の協力でマイクロバストライブやアルミ作業を提供できたのは良かった。
- ゾーニング等感染症対策の理解や防護服等の正しい着用など職員間のばらつきや感染症対策面からも全居室の個室化が課題となり、感染した利用者の体力低下が顕著であり今後のリハビリが重要である。

（2）通院対応(送迎含)について

- 通院対応職員を固定し感染拡大に努めた（原則2名固定対応）。併せて、通院用公用車を限定しコロナ関連通院以外利用不可とし、通院用公用車の駐車スペースをグランドとし、窓を開け常時換気とした。
- 通院対応職員も防護対策として「フェイスシールド又はゴーグル、ヘアーキャップN95マスク・使い捨てガウン・手袋」を着用した。
- 感染拡大防止のため、一つの課で対応できれば望ましいが、初期の対応から発症した課の職員が担当したほうが良かったのか。いずれにしてもリスクは負うので防護服を着用し車を固定化し対応できたのは良かった。
- 外部通院等を電話診療に切り替えて対応できたことが良かった。
- 通院対応を管理職等が担ったことで寮内支援を支援員が担い、寮内業務等がスムーズに遂行できた。
- 通院、入退院の送迎時に、感染予防対策で生活2課から車が駐車している体育館横まで移動しなければならなかった。車が入れないように支柱があるが、緊急時は外せるよう対応が必要だと感じた。
- 各病院に通院して良いかの確認が大変だった。クラスター発生により受診拒否される病院が多く困難を極めた。
- 利用者の人命を救うのに我々の命を懸ける覚悟で臨まなければならないと感じた。

（3）食事支援について

- 今回の感染時期が12月で、弁当の盛付け時間を気にせず対応できたが、夏場での

対応となると盛付け時間を考慮する必要がある。

- 生活 2 課の配膳の順番を最後に変更し、温冷配膳車は使用せず寮ごとにカートを用意し、配膳は他課職員が応援に入ったのは良かった。
- 陽性者は居室の提供となり職員の連携が難しく他の支援にも影響することがあった。また、汁物は朝食時のみ提供したが、設備や人員の関係で難しく、使い捨て食器での汁物提供は検討が必要である。そして、ソーシャルディスタンスが取りにくいいため数回に分けて食事支援をせざるを得なかった。
- 常に連鎖感染に気を付けて対応し、弁当形式のため陽性者の食事提供が居室対応で良かった。ただし、利用者にとってはストレスが溜まると思われたが感染リスクはかなり軽減できていた。また、弁当に名札が貼ってあり配膳がスムーズであった。使い捨て弁当形式は有効であったが、量が少ないように感じた。(別紙 9)
- 職員の勤務変更はその都度大変で食数変更は難しかったが、食事チェックの名簿が必要だと思った。
- 利用者の食席の空け方などクラスター班より助言がありもう一つの寮のリスクも最小限に抑えることができた。また、今後の課題として、生活 1・3 課も同様な対応が必要かと思った。
- 入院者の欠食手続きが水分ゼリーの個数まで反映していないことが続いたので今後の課題かと思われる。
- 配膳の際、各寮出入口の机に必要な数を置くルールであったが寮から職員が出てきて受け取ろうとすることがあり不安を覚えた。

(4) 職員体制について

- 感染リスクを避けるため自宅に戻らず園に宿泊した数名の職員が、同じ部屋を利用したことで感染者が増えたため、外部機関の宿泊場所の早急な確保が必要であると感じた。
- 陽性の症状が発生した場合の職員が待機する場所が園内には確保できていないことや、やむを得ず使用した場所が一定期間使用禁止となったことは今後の課題である。また、宿泊施設の支払が現金払いだったので、その都度の手続きが大変なので振込にしてほしい。
- 法人の応援はとても助かったが、1 度に数人の応援ではなく、1 週間単位での 3 人が 3 週間の応援体制でも良かったのではないかと感じた。応援時の人数調整も必要と感じた。併せて、法人応援の職員は PCR 検査実施後陰性を確認して欲しかった。
- 他部署の職員が通院等対応してくれたことで、現場の支援員を減らさずに支援できたのはよかった。
- 限られた職員でゾーニング等支援する中で、対応が徹底されておらず温度差も感じられた。(例えば、職員の出入口の徹底等)
- 法人及び園内より応援職員の配置がされたことで、支援・業務体制が確保でき、安心感も得ることができた。
- 今回の経験を踏まえ支援体制は課単位より寮単位での対応の工夫をしていく必要がある。生活 1・3 課は今後の課題となった。併せて、地域生活支援課 (GH) を含め感染者が出た場合を想定した応援体制を検討しておく必要があると感じた。特に、現状人員が不足している生活 1 課は急務である。一方で、感染し職員が減ったことで連携が普段より向上したように感じられ、感染していない寮の専任対応となり申し訳なく感じた。

- 緊急時の寮固定が早急に実施でき良かった。しかし、緊急時の配置となり、職員の業務遂行レベルを反映した割り振りができず、偏りが生じた。今後、緊急時の寮体制が円滑に実施できるように人員設定を考えることが必要であり、現状の職員配置数では、寮固定は難しいと改めて感じた。
- 感染者が増える状況下では感染した寮の職員が不足したが、陽性者の職員が復帰後は一定期間感染した寮配置となり、もう1つの感染していない寮は職員配置ができずアンバランスな状況が生まれた。それでも保健所の指示で対応せざるを得なかった。
- 感染していない寮は応援職員が入れたが、感染した寮は自らの配置職員で踏ん張った。幸いにも生活2課経験者が各寮ともに6名配置でき、必要最低ラインの職員体制が確保できたが、経験者6名以下となった場合の応援等体制の検証が必要である。また、他部署からの差し入れや応援メッセージは心に沁みた。
- 日中支援課職員は、生活介護事業がクラスターの発生期間中は閉鎖となりグループホーム利用者の昼食支援となった。園内の消毒、清掃も担い、感染拡大予防ができて非常に助かった。また、ゾーニング等しっかり対応してもらい、世話人・夜勤者には安心して働いてもらえた。
- 看護課は生活2課と生活1・3課の業務に職員を分けて配置し、生活2課対応の職員を日々固定し、医療物品も必要な課へ配置する等物品の移動も最小限とした。また、法人の応援看護師には感染していない生活課での支援に配慮した。

(5) 消耗品・備品について

- 常時、ノロウイルス等対応として当園で備蓄していたこともあり、素早く、防護服・マスク・手袋・シューズカバー・アルコール等を配布できた。その後、神奈川県よりN95マスク・防護服・手袋・フェイスシールド・アルコールが届き必要な物資確保はできた。
- しかし、利用者の発熱等による水分補給用飲料水や紙コップなどは備蓄がなく急遽、補足した。また、食事支援での紙皿・割りばし等は防災備蓄品から活用したが、使い捨て弁当箱も急遽、補足した。
- 感染寮内のゴミは、感染性廃棄物として専用容器を備蓄しており対応できたが、感染寮で使用した弁当箱等すべてが感染ゴミ対応となり、感染予防の観点から72時間以上専用ごみ箱で保管した後、専用業者回収となり、日々、予想以上の廃棄量となり新たに専用ゴミ置き場を設定せざるを得なかった。今回の感染は、1つの課のみで抑えられ、神奈川県の協力も得て消耗品等の備蓄等に対応ができたが、感染が全園に拡大した場合は、相当量の備蓄が必要となる。(別紙8-2)
- 衣類クリーニングについては、通常外部委託していたが委託に出せない状況となり、寮内にて医療用ハイターを購入して対応した。(別紙8-3)
- 各寮内入口等に消毒液を設置し、発生以前より、職員個人への携帯消毒液を配布するとともに、1日2回(午前・午後)の園内消毒を実施した。併せて、アルコールウェットティ(使い捨て)があるとよかった。
- 通常とは違う必要備品について、各課での欠品等がでたが総務課等で迅速に対応してもらいよかった。特に、使い捨てグローブが不足した。また、感染当初に寮の出入り口付近が備品等であふれていたように感じた。
- 今回のような非常時は園で共有管理していた利点が発揮され、備蓄があったことが大変よかった。また、寮内消耗品の出納は、課長が担当していたが不在時の不足品の問合せが何度も看護課にあった。担当不在時の備品調達のあり方を周知す

る必要があった。

- 他部署借用品の返却時に、借用元わからないものがあった。借用一覧表等はあるとよかった。また、消耗品等は誰でも持ち出せるため在庫管理が難しかった。併せて、必要な物品等一覧表の周知が不十分であった。
- 毎日出る医療廃棄物は、新たに設けられたゴミ処理場（プール場内に設置）への搬出は肉体的重労働であった。また、感染症のゴミ箱はもう少し詰めて捨てて欲しかった。

(6) 保健所等外部対応について

- 保健所等は上席者が行ったことで、上手く対応できた。
- 利用者の疾患リストができていたので、調整がしやすかったと思う。
- PCR 検査等早い対応してもらえて良かった。十分対応してもらえた。
- 保健所窓口の担当は看護課であったが確認やケア等現場に入ることが優先された。部長職が中心となり調整をし、結果としてよかった。
- 上席者が連携して上手く対応していたと思う。
- 外部の方が来た際に、園長・部長が全員で対応に入ってしまうと、また別で対応が必要な際に対応できなくなってしまうと感じた。部長 1 人は総務課に残っている体制が取れる方がよかったように感じる。
- ゾーニング等しっかり対応していただいたおかげで、外部事業所への通所は通常通りできた。

(7) その他

- PCR 検査の結果が出るまで不安だったが もうえクリニックより結果の電話の際、病院も対応で忙しくて大変なのに「たいへんだと思いますが頑張ってくださいね」と温かい言葉をいただいた。
- 園内対策本部会議の最新情報は PC 内の申送りとホワイトボードに手書きされたものがあり迅速性がありわかりやすかった。一方、職員間で情報が飛び交っており、上席者よりも早く情報が入ることがあった。通常時も同様に個人情報等情報の取扱いには気をつけていきたい。
- 生活 2 課での勤務経験者を園内応援職員（3 名）として対応したのはよかったと思う。今後も感染症対応も視野に園内交換研修を実施することで園としての支援力が更に高まるのではないかと感じた。併せて今回の感染症対応の経験を法人内外の施設等への発信も必要だと思う。
- ゾーニングの際、サロン等寮内にノートパソコン配置は業務遂行に有益であった。通常でも寮内にノートパソコン配置ができたらいい。また、発症当日に仮支援員室等の設置準備を行ったが、設置するための備品等の保管場所等の把握が不十分で、それにかかる指示も十分ではなかったように感じた。併せて看護課へ物品や職員の熱等の問合わせも多かった。
- PCR 検査の結果が出るまでの間、感染予防をどのようにとればよいか判断がつかず、陽性結果を想定しての対応は辛かった。また、生活 2 課職員に対する PCR 検査実施の判断が明確で不安を感じた職員が多くいた。
- 職員トイレをそれぞれの 2 つの寮に分ける使用方法にしても良かったのではない。また、感染していない寮の支援員スペース付近に水回りがなかったのも、歯磨き等衛生面での対応を寮内に入って実施せざるを得ないのは不安が残った。

- 上席夜勤の時、生活2課の緊急時想定をどのような対応を取ってよいか分からなかった。有事の際、連携等内容等を具体的に示してほしかった。
- 新型コロナウイルス対応で職員間の交わりが少ない中、部長級以上とのやり取りが希薄になっていると感じた。各課長から現場の困り感等が伝わっていたのか不安もあった。また、職員食堂で大きな声で話をしている職員もあり、ルールが守られていなかった。園全体の危機感が必要である。

7 おわりに

本報告書の検証結果等のとおり、これまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症への不安や先の見えない感染治療等への対応の中で、支援員・医療看護職員・厨房職員・事務員等各セクションが更なる連携を強め、対応等に取り組んだ結果、生活2課内での感染収束等について次のとおり報告し、再発防止策等を改めて共有していきたい。なお、新型コロナウイルス感染症の感染治療を終了したが、基礎疾患治療のため転院治療を継続中の利用者1名の早期完治を願う。

- 12月11日の感染症への感染時点から、所管保健所から「クラスター想定の対応の指示」や、同14日には県コロナクラスター対策チーム C-CAT の派遣を受け、生活2課を所管する課長や幹部職員がゾーニング等の対策、正しいマスクや防護服等の着用等アドバイスを直接受け、所管課長が直接、課員等に指導し対応の徹底が図られたこと。
 - 当園診療所内科医の指導により、昨年4月の緊急事態宣言発令を受けた「厚木精華園での新型コロナウイルス感染症にかかる対応手順」の作成や、利用者・職員・来園者等が可能な限り交わらないゾーニングによる支援を展開し、当園のハード面の構造上もゾーニング（参考資料参照）が可能であったこと。
 - 感染当初から、利用者支援・保健所対応・通院等外部機関との対応等の役割分担が明確化でき各役割に専念できたこと。
 - 園内の他部署職員の感染寮への応援体制・法人各園からの職員派遣や、県はじめ関係者からの応援物資等支援、理事長はじめ法人職員・厚木地区施設長会等による頻回な訪問等メッセージにより、園全体のモチベーションが維持できたこと。
 - 一方で、感染した利用者（陽性者）が、高齢で基礎疾患がある中でなかなか入院治療を受けられず、園内治療で対応せざる負えない不安感や、退院してくる利用者の状況等の情報が不十分での不安感（医療機関の入院治療者逼迫での退院調整）があったこと。
 - 家庭内感染のリスクを回避するため、感染当初の園内宿泊（ゲストハウス等）した職員の感染が増えたこと。その後、法人として園外に宿泊先を確保したことで安心した支援体制ができたこと。
 - 感染寮が、他部署等からの応援体制が組みにくい女性寮や職員配置の少ない生活課での感染を想定すると短期間での感染症対応解除や当該寮だけの感染収束が見込めたか不安が残ったこと。
 - 最後に、これまで経験したことのない感染症対応での不安の中で、精力的に支援にあたった当園の生活2課はじめ全スタッフ、感染した職員が短期間で勤務復帰したことなどに当園の「力」を感じたこと。
- 併せて、法人職員はじめ多くの関係者・関係機関等にも感謝したい。

参考資料

- ゾーニングについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1～14
- 感染症の発症について（家族・後見人向け通知）・・・・・・P15
- 感染情報（第1～6報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16～21
- 職員の皆さんへ（職員向けメッセージ）・・・・・・・・・・P22～23
- 保健所による全職員・関係者へのPCR検査実施・・・・・・P24
- 厚木精華園での新型コロナウイルス感染と今度の対応について・・・P25
（理事長メッセージ）
- 法人が実施したPCR検査キッドについて・・・・・・・・・・P26
- 利用者健康記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・P27
- 利用者「基礎疾患リスト」・・・・・・・・・・・・・・・・・・P28
- 利用者「経過シート」・・・・・・・・・・・・・・・・・・P29
- 職員「経過シート」・・・・・・・・・・・・・・・・・・P30
- 物品等使用リスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・P31
- 新聞記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・P32～35
- 利用者からの励ましの手紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・P36

洗濯置場

風呂

調理室

ボイラー室

ドライエリア

電気室

スプリングクーラー

倉庫

食品庫

事務室

休憩室

オイル室

ヘル室

野外階段

居住棟1階へ



図 1 階平面図

図 1 階平面図は、建物の1階の配置を示しています。主要な部屋として、講義室、討論室、図書室、待合室、受付、男女トイレ、および臨時支援員室（赤枠で囲まれている）が描かれています。また、中庭や屋外階段などの外部空間も示されています。

居住棟 2 階平面図

シエロ系職員出入口

臨時支援室

洗面室

女子更衣室

更衣室

居室

居室

ダイニング

図書室

シエロ系職員出入口

臨時支援室

洗面室

女子更衣室

更衣室

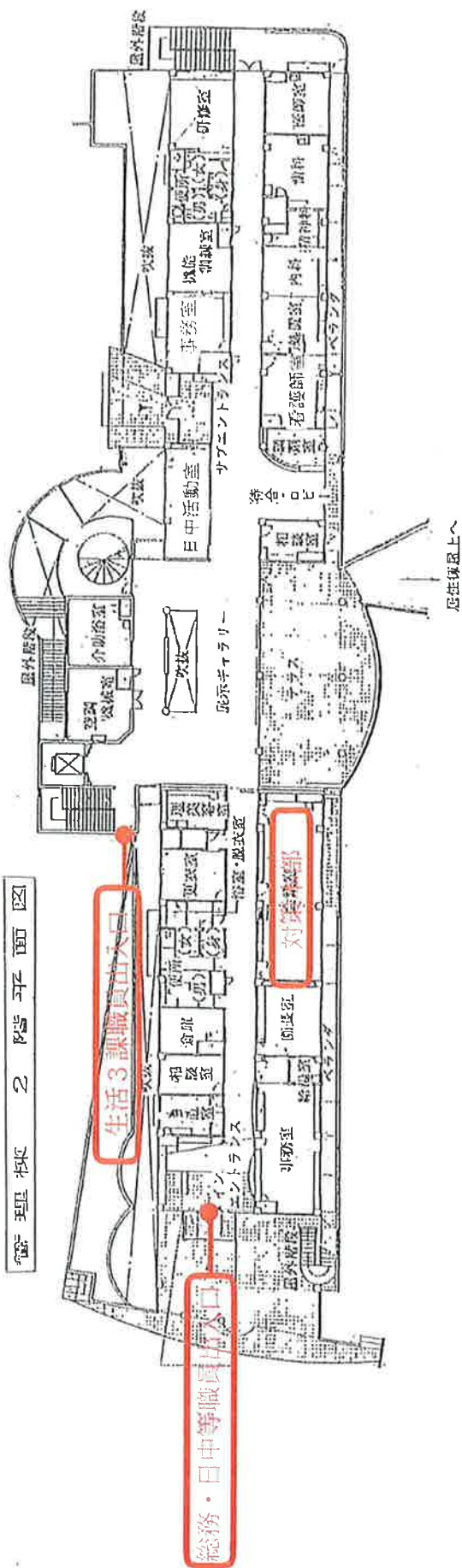
居室

居室

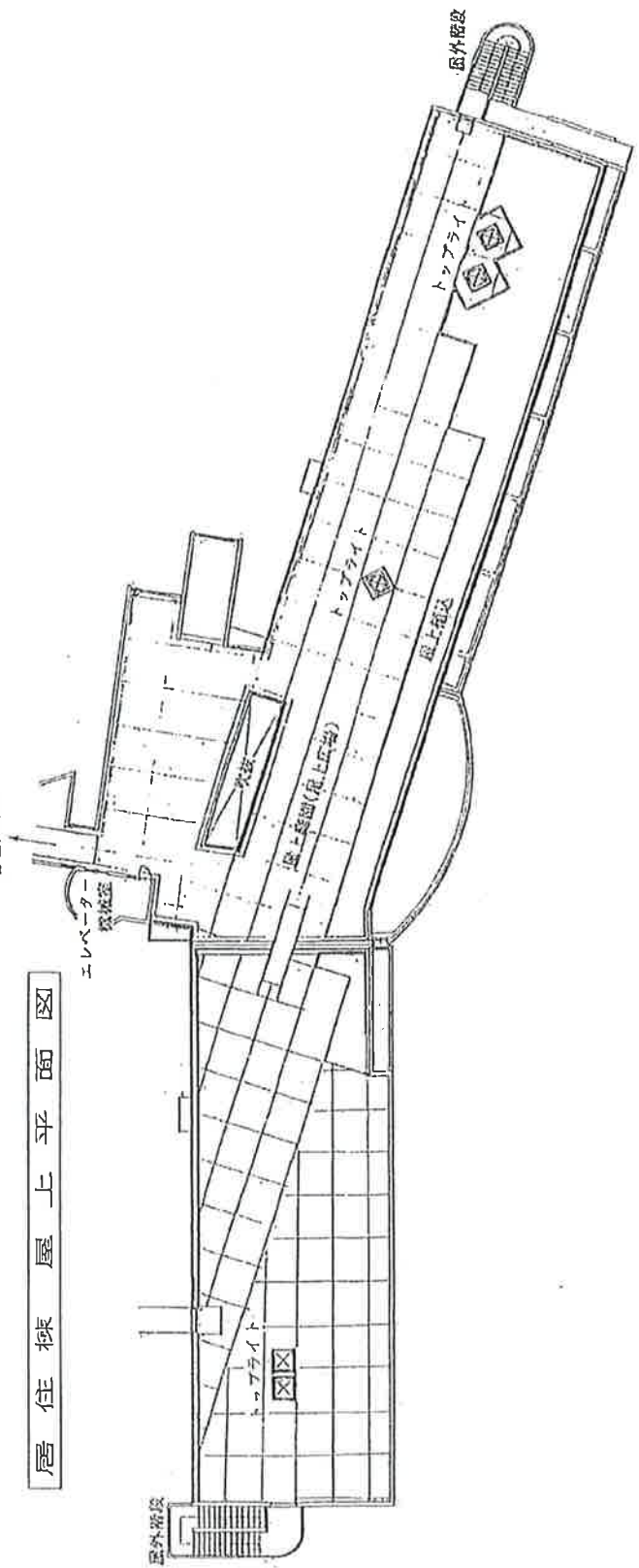
ダイニング

図書室

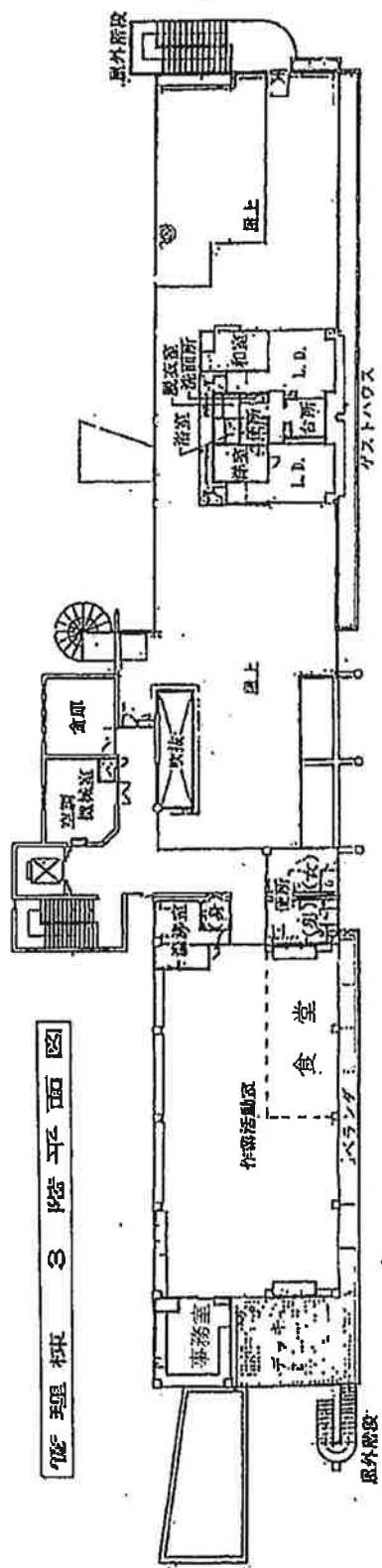
管理棟 2 階平面図



居住棟 屋上平面図



修理棟 3 階平面図



【寮内ゾーニング】

支援員室と食堂を挟んで寮があるため、ビニールシート等でゾーニングを行いました。



感染していない寮と食堂・感染した寮職員室の境界



感染していない寮のサロン



感染した寮のサロン
ノートパソコンPC設置



感染した寮の職員休憩室と感染していない寮との境界



食堂

感染している寮の職員休憩スペースはクラスター中盤以降、ここでの職員の行動に注意との保健所・県クラスター班から指示がありました。マスクを外しての会話は厳禁です。無言の食事が続きました。

【支援員室】

職員の接触を防ぐために、陰性側対応職員と陽性側対応職員の二つに支援員室を分けて事務を行った。



廊下に支援員室設置（陰性側）



P C 設置



寮内支援員室（陽性側）



【職員の寮内外への動き】

寮入口前に感染症対策用の防護服等を着る場所を設置し、消毒後、フェイスシールド・N95 マスク・手袋・防護服・ヘアーキャップを着用し寮内クリーンエリア入口から支援に入る。寮から外へ出る時は、レッドゾーン出口にてヘアーキャップ・防護服・手袋を脱ぎ、感染症ゴミ箱へ捨て消毒をしてからクリーンエリアの廊下にする。フェイスシールド・N95 マスクをクリーンエリアの専用ハンガーにかけ、使い捨てマスクを着用し支援員室に入る。



着る場所：防護服・ヘアーキャップ・手袋・消毒液を設置。青テープでキルと表示



着替え後の職員



エレベーター前レッドゾーン



寮内にパーテーションを設置し
入口・出口のゾーニング。



脱ぐ場所：防護服・ヘアーキャップ・手袋を感染症ゴミ箱に捨て、消毒し外へ。



赤テープでヌグと表示。



寮入口にN95 マスク・フェイスシールドをかける場所を設置。



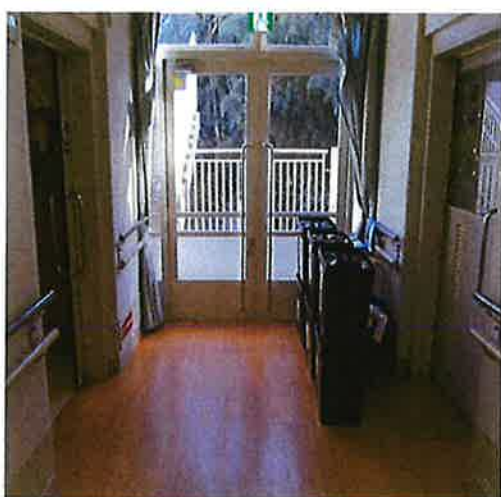
寮外乾燥室にN95 マスク保管。
1 名につき 5 枚配布



廊下に感染していない寮職員用、
下駄箱設置。

【感染症ゴミ処理】

生活 2 課の医療廃棄物処理時間を 14:30 からとゾーニングしました。
 処分時間に感染していない寮はサロン前のベランダに容器を集める。感染した寮は非常階段前に集める。集まった容器を感染していない寮分はベランダを通過して感染した寮側の非常階段前に下ろす。二つの寮の容器を合わせて非常階段を下りて、プールサイドに運搬する。毎日 15 から 20 個の容器が出ました。容器には日付を記入します。3 日間（72 時間）経過しないと業者が処理を開始できないとのことでした。



感染していない寮のサロン前に回収前の感染症ゴミ箱設置。



感染していない寮のサロン前に感染症ゴミ箱。



非常口に改修前の感染症ゴミ箱設置。



感染した寮の非常階段前に感染症ゴミ箱。

【感染症ゴミ置き場】

3～4日で下記の量となりました。



プール



プール内空きスペースに設置

【利用者衣類】

通常は、法人内クリーニング事業へ衣類の洗濯をお願いしているが、感染症衣類は出すことができないため、課内で利用者衣類の洗濯を行った。



利用者衣類の洗濯と消毒



クラスター中の利用者衣類は①下洗い②次亜塩素酸ナトリウムでの消毒③仕上げ洗い④乾燥の4工程を寮内で毎日実施しました。

使い捨てコップ



クラスター中の水分提供は使い捨てコップを使用しました。

【食事支援】

通常は温冷配膳車にて配膳をしていますが、感染症対策としてワゴンに一人ひとりのお弁当をバットにいれて食札を貼り、配膳を行いました。



調理室→配膳車



生活課入口前に配膳（感染していない寮）毎食名札が付きました。



生活課入口前に配膳（感染した寮）毎食名札が付きました。

令和 2 年 12 月 12 日

各 位

社会福祉法人 かながわ共同会
 厚木精華園長 平 嶺 一昭
 (公 印 省 略)

当園における新型コロナウイルス感染症の発症について

日頃より、当園の運営につきまして、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当園におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策に取り組んでいるところですが、生活 2 課において、新型コロナウイルス感染症陽性（利用者 1 名・職員 1 名・計 2 名）と診断されましたので、次のとおりお知らせいたします。

なお、この度の感染症発症にかかる疑問等ございましたら、当園までお問い合わせくださいますよう、併せてお願いいたします。

〔概 要〕

生活 2 課利用者（1 名）が前日より発熱が見られたため、12 月 11 日に当園診療所内科を受診する。発熱が続き採血結果が悪いため、通院の指示を受け受診する。発熱・嘔吐の症状があり抗原検査を行い、陽性と診断される。

併せて、同課職員（1 名）が 12 月 11 日に発熱等の風邪症状があり医療機関を受診し PCR 検査を行い、12 月 12 日に陽性と診断される。

その旨、所管保健所に連絡し、感染症発生の対応をとるとともに、濃厚接触者の特定を行う。2 名の感染者のうち、利用者は医療機関での入院治療となり、職員は自宅静養となった。

併せて、濃厚接触者（利用者 33 名・職員 31 名・計 64 名）は PCR 検査を行い、12 月 14 日には結果判明の見込みである。

現在、園内対策本部を設置し、生活 2 課の対応をはじめ、感染拡大の防止等について園総力を挙げて対策を講じている。

問い合わせ先

支援部長	松本 聡
総務部長	高野 幸美
電話	(046) 291-0780 (代)
	(046) 280-4397(支援部)

令和 2 年 12 月 12 日

関係者の皆さんへ

社会福祉法人 かながわ共同会
厚木精華園長 平 嶺 一昭
(公 印 省 略)

厚木精華園利用者等の新型コロナウイルス感染症の
感染について (第 1 報)

日頃より、社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園の運営につきまして、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当園におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策に取り組んでいるところですが、生活棟において、新型コロナウイルス感染症陽性(利用者 1 名・職員 1 名)と判明しましたので、次のとおりお知らせいたします。

1 感染者について

利用者(70 代男性)は、12 月 11 日に発熱等があり医療機関を受診し、抗原検査により陽性と判明。現在は医療機関で入院治療中。

職員は、12 月 11 日に発熱等があり医療機関を受診し、PCR 検査により陽性と判明しました。現在は自宅待機中。

2 感染対応について

上記について、所管保健所に連絡し、その指導のもと、感染症発生の対応(ゾーニング等)をとるとともに、濃厚接触者の特定を行い、利用者 33 名・職員 31 名・計 64 名の PCR 検査を実施。12 月 14 日に結果判明の見込み。

現在、法人及び園内対策本部を設置し、感染寮の対応をはじめ、感染拡大の防止等の対策を講じています。

問い合わせ先

支援部長 松本 聡

総務部長 高野 幸美

電話 (046) 291-0780 (代)

(046) 280-4397(支援部)

令和 2 年 12 月 14 日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 かながわ共同会
 厚木精華園長 平 嶺 一昭
 (公 印 省 略)

厚木精華園における新型コロナウイルス感染症の
 発症について (第 2 報)

日頃より、社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園の運営につきまして、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当園におきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に取り組んでいるところですが、生活 2 課における新型コロナウイルス感染症の発症 (12/11) を受けた濃厚接触者の PCR 検査の結果について、次のとおりお知らせいたします。

1 感染者について

(12/13 現在)

月 日	利用者		職 員		合 計	
	当日数	延人数	当日数	延人数	当日数	延人数
12/11	1 (1)	—	1	—	2 (1)	—
12/13	8 (1)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	11 (2)	13 (3)

() は入院者数で内数

2 感染対応について

当園での感染対応は、所管保健所の指導のもとクラスター発生に伴う対応をとっています。引き続き、法人及び園内対策本部で協議を行い、感染寮での対応をはじめ、感染拡大防止等の対策を講じてまいります。

問い合わせ先

支援部長 松本 聡
 総務部長 高野 幸美
 電話 (046) 291-0780 (代)
 (046) 280-4397 (支援部)

令和 2 年 12 月 16 日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 かながわ共同会
 厚木精華園長 平 嶺 一昭
 (公 印 省 略)

厚木精華園における新型コロナウイルス感染症の
 感染について (第 3 報)

日頃より、社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園の運営につきまして、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当園におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでいるところですが、生活 2 課における新型コロナウイルス感染症の感染を受け、県 C-CAT コロナクラスター対策チームの指導 (12/14) による、濃厚接触者の更なる PCR 検査を行った結果について、次のとおりお知らせいたします。

1 感染者について

(12/15 現在)

月 日	利用者		職 員		合 計	
	当日数	延人数	当日数	延人数	当日数	延人数
12/11	1 (1)	—	1	—	2 (1)	—
12/13	8 (1)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	11 (2)	13 (3)
12/14	— (1)	9 (3)	—	4 (1)	— (1)	13 (4)
12/15	4	13 (3)	2	6 (1)	6	19 (4)

() は入院者数で内数

2 感染対応について

当園での感染対応は、所管保健所の指導のもとクラスター発生に伴う対応をとっています。引き続き、法人及び園内対策本部で協議を行い、感染寮の対応をはじめ、感染拡大の防止等の対策を講じてまいります。

問い合わせ先

支援部長 松本 聡
 総務部長 高野 幸美
 電話 (046) 291-0780 (代)
 (046) 280-4397(支援部)

令和 2 年 12 月 19 日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 かながわ共同会
 厚木精華園長 平 嶺 一昭
 (公 印 省 略)

厚木精華園における新型コロナウイルス感染症の
 感染について (第 4 報)

日頃より、社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園の運営につきまして、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当園におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでいるところですが、生活 2 課における新型コロナウイルス感染症の感染 (12/11) から 1 週間経過した感染者の状況について、次のとおりお知らせいたします。

1 感染者について

(12/18 現在)

月 日	利用者		職 員		合 計	
	当日数	延人数	当日数	延人数	当日数	延人数
12/11	1 (1)	—	1	—	2 (1)	—
12/13	8 (1)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	11 (2)	13 (3)
12/14	— (1)	9 (3)	—	4 (1)	— (1)	13 (4)
12/15	4	13 (3)	2	6 (1)	6	19 (4)
12/16	— (1)	13 (4)	1	7 (1)	1 (1)	20 (5)
12/17	— (2)	13 (6)	—	7 (1)	— (2)	20 (7)
12/18	2	15 (6)	1	8 (1)	3	23 (7)

() は入院者数で内数

2 感染対応について

当園での感染対応は、所管保健所の指導のもとクラスター発生に伴う対応をとっています。引き続き、法人及び園内対策本部で協議を行い、感染寮の対応をはじめ、感染拡大の防止等の対策を講ずるとともに、他園からの応援も得ながら寮の運営を継続してまいります。

問い合わせ先

支援部長 松本 聡
 総務部長 高野 幸美
 電話 (046) 291-0780 (代)
 (046) 280-4397(支援部)

令和 3 年 1 月 5 日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 かながわ共同会
厚木精華園長 平 嶺 一昭
(公 印 省 略)

厚木精華園における新型コロナウイルス感染症の
感染について (第 5 報)

日頃より、社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園の運営につきまして、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当園におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでいるところですが、生活 2 課における新型コロナウイルス感染症の感染者の状況について、次のとおりお知らせいたします。

1 感染者について

(1/2 現在)

月 日	利用者		職 員		合 計	
	当日数	延人数	当日数	延人数	当日数	延人数
12/11	1 (1)	—	1	—	2 (1)	—
12/13	8 (1)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	11 (2)	13 (3)
12/14	— (1)	9 (3)	—	4 (1)	— (1)	13 (4)
12/15	4	13 (3)	2	6 (1)	6	19 (4)
12/16	— (1)	13 (4)	1	7 (1)	1 (1)	20 (5)
12/17	— (2)	13 (6)	—	7 (1)	— (2)	20 (7)
12/18	2	15 (6)	1	8 (1)	3	23 (7)
12/21		15 (6)		9 (1)		24 (7)
12/26		7 (4)		5 (1)		12 (5)
1/2		4 (4)		1		5 (4)

() は入院者数で内数。

延べ人数には、陽性判明後 10 日以上経過し回復（退院）した人数を除く。

2 感染対応について

当園での感染対応は、所管保健所の指導のもとクラスター発生に伴う対応をとっています。引き続き、法人及び園内対策本部で協議を行い、感染寮の対応をはじめ、感染拡大の防止等の対策を講じてまいります。

問い合わせ先

支援部長 松本 聡
総務部長 高野 幸美
電話 (046) 291-0780 (代)
(046) 280-4397 (支援部)

令和 3 年 1 月 14 日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 かながわ共同会
厚木精華園長 平 嶺 一昭
(公 印 省 略)

厚木精華園における新型コロナウイルス感染症の
感染について (第 6 報)

日頃より、社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園の運営につきまして、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当園におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでいるところですが、令和 2 年 12 月 11 日以降の生活 2 課における新型コロナウイルス感染症の感染につきましては、所管保健所の指導の下、法人・各園の支援等により対応してまいりましたが、令和 3 年 1 月 14 日をもって感染症対応解除となりましたので、お知らせいたします。

併せて、多くの関係者の皆様には、ご心配・ご迷惑をおかけいたしました、引き続き、新型コロナウイルス感染症を園内に持込まないよう、再発防止に取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

支援部長 松本 聡
総務部長 高野 幸美
電話 (046) 291-0780 (代)
(046) 280-4397(支援部)

職員の皆さんへ

厚木精華園の皆さん。日々の業務、ご苦労様です。

当園では、今年2月に発生した新型コロナウイルス感染症を、施設内や家庭内に「持ち込まない」をキーワードに、各セクションで取り組んでもらっています。大変感謝いたします。

令和2年12月11日に生活2課利用者・職員の発熱等の症状があり、医療機関を受診した結果、新型コロナウイルス感染症に感染と診断されました。

即日、園内対策本部を設置するとともに、法人事務局とも連携を図り、厚木保健所の指導の下、生活2課の対応をはじめ、感染拡大の防止等の対策を全園一丸となって取り組んでいます。

併せて、本日、神奈川県感染症対策チームが派遣され、具体的な対応策など指導を受けました。今回の新型コロナウイルス感染症発症に対する保健所の安全宣言が出るまで、更なる各セクションの連携により、「感染を広げない・利用者、職員等の安全安心を守る」をキーワードに、引き続き、取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

- 1 職員一人ひとりの体調管理を更に徹底してください。出勤までの検温とともに、咳・喉の痛み・倦怠感等風邪の症状が見られたら、医療機関を受診してください。
- 2 今回の感染症に対する安全宣言が出るまでは、食事・排泄・投薬等ルーチンの支援業務を最優先し、日課を進めるように職員間で情報共有を図ってください。
- 3 ウイルスを広げないために、マスクの着用・行動のたびの手指消毒・3密を意識した行動、特に、食事中はマスクを外すため食事中の会話は厳禁とし、会話する場合はマスクの着用の徹底をお願いします。
- 4 保健所の安全宣言が出るまでの間、勤務中の緊張感等通常業務以上の負担を強いられますので、職員同士で声を掛け合い、疲れたらまず休むこともお願いします。

令和2年12月14日

厚木精華園長

職員の皆さんへ
(新型コロナウイルスの感染症対応解除について)

職員の皆さん、年が改まり新しい年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年 12 月 11 日に当園生活 2 課の利用者・職員が新型コロナウイルス感染症に感染したことを受け、園内対策本部を設置するとともに、神奈川県感染症対策チームの派遣や所管保健所の指導の下、法人・各園の職員派遣をはじめ、心の応援物資など多くの支援をいただき、生活 2 課の感染対応をはじめ、感染拡大の防止等の対策を全園一丸となって取り組んでまいりました。

感染状況は、利用者 16 名・職員 10 名・計 26 名の感染となりましたが、12 月 30 日以降に新たな感染者がいなかったことから、所管保健所から令和 3 年 1 月 14 日をもって感染症対応解除の連絡がありました。

これまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症への不安や、先の見えない治療等の中で、支援員・医療スタッフ・厨房職員・事務職等各セクションが更なる連携による対応等により通常支援に戻ることができました。すべての職員・多くの関係者の皆さんに感謝いたします。

国内では、現在も新型コロナウイルス感染症は感染拡大を続け、緊急事態宣言の再発令中でもあります。二度と感染しないために園として検証を行い、再発防止策等を全職員で共有していきたいと思えます。

併せて、職員一人ひとりの体調管理を更に徹底し、出勤時の検温、咳・喉の痛み・倦怠感等風邪の症状がある場合の医療機関受診、正しいマスクの着用・行動のたびの手指消毒・3 密を意識した行動、特に、食事中はマスクを外すため食事中の会話は厳禁等の更なる徹底をお願いします。

令和 3 年 1 月 14 日

厚木精華園長

「厚木精華園」での保健所及びC-CATによるPCR検査実施について

別紙 4

【日付】 令和2年12月17日（木）

【会場】 厚木精華園 体育館及び居住ユニット

【対象】 ○職員110名 唾液検査・咽頭検査（職員灘尾で唾液検査が不能者） 体育館
○利用者90名 咽頭検査（居住ユニット 5ユニット3フロア） 各居室

【時間】 13:25 会場到着・準備 ～ 16:30 最終撤収

【施設にて対応する内容】 検査が終わるまで、入所者は個室にて待機

- 利用者・家族等への説明
- 検査リスト、ラベル作成
- 職員用唾液検査のストロー・ストロー用ゴミ箱の準備
- 体育館職員検査受付1名（容器を渡す、台帳チェック）
- 利用者の本人確認（居住ユニット担当）

職員の検査

■唾液検査

受付	施設職員 1名 県職員 1名	○本人を確認し、検体容器を渡す
検査会場内誘導 検体採取量確認	保健所職員 2名	○座る椅子（30脚）の案内 ○検体採取方法の説明
検体受付	保健所職員 1名	○検体提出者の名簿確認
検体消毒・保管	監視員 1名	○検体の消毒・保管

■咽頭検査

検査	保健所医師 1名 保健師 1名	○氏名を確認 ○検体採取
----	--------------------	-----------------

利用者の検査

- ・入所者は各居室で検査。必ず職員に氏名等確認してもらう。
- ・検査の順番は案内担当職員と打合せする。

■咽頭検査

検査準備	保健師 1名 保健所職員 1名	○ユニット名を確認する ○容器を検体採取者へ渡す
検査	C-CAT 2名 医師 1名	○氏名・本人を確認 ※施設職員が協力 ○検体採取（スワブを折って蓋を閉める）
検査容器の準備	保健師 1名	○検体消毒（アルコール綿で拭く）
検査容器回収	監視員 1名	○検体保管（保冷）
片付け	保健師 1名 監視員 1名	○全ユニットが終了したら、体育館に移動。 検体の保管、ゴミの廃棄準備、全物品の 消毒、施設ワゴンの消毒・返却
検体確認	保健師 1名 監視員 1名	○検体とリストの突合せ

令和2年12月19日

職員の皆様へ

理事長 草光 純二

厚木精華園での新型コロナウイルス感染と今後の対応について

職員の皆様には、利用者の支援にご尽力いただき中、新型コロナウイルス感染防止に努めていただき、深く感謝申し上げます。

さて、皆様ご存じのとおり、12月11日に厚木精華園の利用者1名、職員1名の新型コロナウイルス感染が判明しました。その後、更に厚木精華園の利用者・職員・業者にPCR検査を実施したところ、12月18日の時点で、新たに利用者2名（延べ15名）、職員1名（延べ8名）、業者1名（延べ1名）、計4名（延べ24名）の感染が判明しました。このように感染が拡大している状況にあります。園内の感染防御が功を奏し、利用者及び職員の感染は生活2課の範囲内にとどまっております。

生活2課に勤務する同課及び応援職員の皆様には、感染の危険を身近に感じる中、利用者支援に従事されていることに対して最大限の謝意を表します。これこそが基本理念に謳う「利用者本位」の支援であると確信しております。

また、既に、厚木精華園以外の園・事業所から応援職員を出していただき、重ねて感謝申し上げます。今回の感染拡大状況は、法人にとって正に非常事態と言えます。法人一丸となって全力で対応しなければなりません。各園とも厳しい運営状況の中ではございますが、更なる応援についてご理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。

東京都では、12月17日の新規感染者数が822人で過去最多となり、年末年始コロナ特別警報が発出されました。また、神奈川県においても同日、319人の新規感染者が確認され、過去最多となりました。年の瀬も押し迫り、新たな年を迎えようとする中、新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染が急拡大しています。職員の皆様におかれては、従前にも増して危機感を強め、次の感染防止対策を実践していただくようお願い申し上げます。

【感染防止対策】

- ・手洗い、咳エチケット、三密（密集、密接、密閉）の回避、換気、検温
- ・感染リスクが高まる「5つの場面」（①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり）の回避
- ・年末年始の感染拡大地域への帰省の自粛、可能な限りの外出自粛

担当は、
法人事務局長 樋川
電話 87-15

法人が準備する職員向け PCR 検査の説明

- 1 概要 保健所や医療機関等からは検査の指示はないが、法人、園が必要と認めた職員に受けていただくものです。費用は法人が負担します。検査結果は必ずお知らせください。
- 2 検査方法 自分で唾液をとって、郵送（速達）していただきます。先方に届いてから 24 時間以内にメールで通知されます。陽性だった場合は、検査機関（にしたんクリニック）から保健所へ連絡されます。またご自身からも所管の保健所へ連絡していただきます。検査結果は、直ちに所属園の園長か部長へ電話連絡をお願いします。
その後、出勤初日に、検査結果のメールを印刷するか、スマートホンの画面等で所属の上席職員に目視で確認してもらうようにお願いします。
- 3 検査の注意事項
 - ①写真上の「封筒」に一式入っています。封筒 1 つと、切手（490 円分・速達含む）をお受け取りください
 - ②応援勤務の最終日の勤務後～翌日の午前 10 時までに採取し、投函してください。
 - ③検査にあたっては封筒の中の説明書等を必ず目をとおり、対応をお願いします。
 - ④下の写真左側の用紙に URL 及び QR コードがありますが、送付する前に、スマホまたはパソコンからサイトにアクセスして、事前の申込を必ず行って下さい。
 - ⑤検査結果の通知先メールアドレスは、個人のメールアドレスでお願いします。
 - ⑥バーコードシールを張るなど、同封の「返送前チェックシート」で必ずご確認ください。
 - ⑦写真右下が「返送封筒」です。切手 490 円分と、同封の「返送用宛名シール（緑色）」と「速達シール」を貼って発送してください。
 - ⑧封筒の中に不備などありましたら、
にしたんクリニックお問合せ窓口 0120-222-545（電話受付 24 時間）にご連絡ください。



担 当
法人事務局 守（もり）

利用者健康記録

氏名	12月17日					12月18日					12月19日					12月20日														
	起床時	昼	夕		症状 有無	起床時	昼	夕		症状 有無	起床時	昼	夕		症状 有無	起床時	昼	夕		症状 有無										
			体温	SPO2				体温	SPO2				体温	SPO2				体温	SPO2		体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2				
	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2	体温	SPO2				
	37	98	36.6	98	37	98	36.6	98	36.8	97	36.4	99	36.5	98		37	98	36.8	98	37.1	97		364	96	36.4	100	36.5	97		
	36	98	36.7	99	36	97	36.8	98	36.8	98	35.5	98	37	99		36.3	99	36.3	97	36.8	100		36.5	97	37	98	36.6	98		
	37.2	96	37	100	37.8	98	38.1	98	10時37.9 9時カ ナール	37 37.6	10時37.9 37.6	98	17時36.9	97		37.6	98	10時37.7 38.0	98	38.1	100		37.8	97	36	98	37.2	98		
	37	99	37.6	99	37.6	95	38.1 0時カ ナール	36.5	99	37.1	97	15時37.4 17時37.7	97		37.4	98	10時37.2 36.8	98	37.5	97		36.8	96	36.8	98	36.8	98	36.8	98	
	37.1	98	35.9	98	37.4	97	36.7	97	37.4	98	15時36.7 17時37.1	100		36.4	98	36.7	98	36.8	100		36.7	99	36.9	98	36.5	97	36.6	98		
	37.1	96	36.5	96	37.3	95	37.2	98	37.3	98	-36.5	98	37.3	97		36.9	98	36.7	98	37.5	95		36.9	99	36.5	97	36.7	98		
	36	96	36.6		37.1	97	38.1 17時カ ナール	36		36.6	99	36.7	96		36.4	97	36.6	96	36.3	95		36.4	98	35.9	96	36.6	97			
	37.5	95	37.8	99	37.8	96	38.1 17時カ ナール																							
	37.8	96	36.7	98	36.8	100		36.8	98	37.2	98	15時36.8 17時37.5	98		37	98	36.8	97	38.2	100	17時 38.2 30分-カ	37	97	37	98	369	98			
	37.1	97	37.2	100	37.6	95	13時38.1 カ ナール	37.1	96-98	37.2	100	15時37.6 17時37.8	96		37.2	98	37.2	98	37.3	100		37.3	98	37.1	100	36.6	98			
	37.2	98	36.9	98	37	97		36	98	36.8	100	37	100		36.3	99	36.8	97	36.9	97		36.2	100	36.2	97	36.8	97			
															36.4	98	35.9	97	36.6	100		36.3	100	35.7	96	36.1	98			

利用者基礎疾患リスト

就園

発端者氏名：

基礎疾患：糖尿病、心臓病、心臓血管障害、慢性呼吸器疾患、癌の既往、高血圧症
 注）現在の症状があれば添付 3-3、3 健康観察票に記入

番号	よみがな氏名	年齢	性別	最終接触日	基礎疾患	症状 (注)	閉鎖空間で過ごす 場所と時間	マスク使用	2メートル以内での会話 場所と時間	マスク使用	便や痰などの体液が 直接手等に触れる
1		60	男	月 日	脳動脈硬化症	無/有		無/有		無/有	無/有
2		63	男	月 日	左前頭葉腫瘍摘出	無/有		無/有		無/有	無/有
3		43	男	月 日		無/有		無/有		無/有	無/有
4		44	男	月 日		無/有		無/有		無/有	無/有
5		60	男	月 日	糖尿病	無/有		無/有		無/有	無/有
6		73	男	月 日	高血圧症	無/有		無/有		無/有	無/有
7		71	男	月 日		無/有		無/有		無/有	無/有
8		90	男	月 日	高血圧症、糖尿病、免疫異常、乳癌アシドーシス	無/有		無/有		無/有	無/有
9		76	男	月 日	高血圧症	無/有		無/有		無/有	無/有
10		65	男	月 日		無/有		無/有		無/有	無/有
11		71	男	月 日	心房細動 高血圧症 骨髄異形成症候群	無/有		無/有		無/有	無/有
12		84	男	月 日		無/有		無/有		無/有	無/有
13		88	男	月 日		無/有		無/有		無/有	無/有
14		42	男	月 日		無/有		無/有		無/有	無/有
15		62	男	月 日	肺中葉症候群	無/有		無/有		無/有	無/有
16		55	男	月 日	肺結核	無/有		無/有		無/有	無/有

No.	氏名	年齢性別	所属	12/6(火)	12/7(水)	12/8(木)	12/9(金)	12/10(土)	12/11(日)	12/12(月)	12/13(火)	12/14(水)	12/15(木)	12/16(金)	12/17(土)	12/18(日)	12/19(月)	12/20(火)	12/21(水)	12/22(木)	12/23(金)	12/24(土)	12/25(日)	12/26(月)	12/27(火)	12/28(水)	12/29(木)	12/30(金)	備考	
1		63 男		37.7	37.3	37.2		38.9	38.3	37.8	37.6	38.1	37.6	37.7	37.5	38.8	37.7	37.8	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	12/13日陽性	
2		44 男						38.2	37.8	37.8	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	12/13日陽性	
3		73 男						37.9	37.8	37.8	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	12/13日陽性	
4		71 男						38.7	37.6	37.6	37.6	38.1	37.6	37.7	37.5	38.8	37.7	37.8	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	12/13日陽性	
5		50 男						37.6	36.9	37.6	37.6	38.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	37.6	12/13日陽性	
6		60 男						36.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	12/13日陽性	
7		50 男						38.4	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	12/13日陽性	
8		76 男						37.1	36.9	36.9	37.4	36.9	37.4	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	36.9	12/13日陽性	
9		65 男						36.9	36.6	36.6	37.1	36.6	37.1	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	36.6	12/13日陽性	
10		71 男						37.6	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	12/13日陽性	
11		64 男						37.6	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	12/13日陽性	
12		68 男						37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	12/13日陽性	
13		42 男						37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	12/13日陽性	
14		42 男						37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	12/13日陽性	
15		43 男						37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	37.1	12/13日陽性	
16		55 男						37.9	36.4	36.6	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	12/13日陽性	
17		79 男						38.3	36.6	36.6	38.9	38.5	38.7	36.6	36.3	36.7	36.1	36.8	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3	12/13日陽性
18		73 男																											12/13日陽性	
19																														
20																														
			院患者(入院)					1(1)	8(1)	(1)	4	(3)	2																	
			速院																											
			院患者																											
			合計					1(1)	8(2)	9(3)	13(3)	13(3)	15(6)	15(6)	15(6)	15(6)	14(5)	14(5)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	7(4)	

職員経過シート

参考資料

	12月11日 日	12月12日 日	12月13日 日	12月14日 日	12月15日 日	12月16日 日	12月17日 日	12月18日 日	12月19日 日	12月20日 日	12月21日 日	12月22日 日	12月23日 日	12月24日 日	12月25日 日	12月26日 日	12月27日 日	12月28日 日	12月29日 日	12月30日 日	12月31日 日
1 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
2 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
3 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
4 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
5 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
6 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
7 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
8 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
9 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
10 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
11 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
12 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
13 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
14 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
15 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
16 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
17 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
18 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
19 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
20 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
21 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
22 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
23 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
24 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
25 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
26 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
27 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
28 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
29 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
30 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
31 職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				
職員 PCR検査 (検査所)	岡山 日517号																				

感染症による物品等使用リスト

参考資料

	使用数	金額	県からの物資
N95マスク	280枚		220枚
ヘアークャップ	1000枚	13,520	
靴カバー	180枚	2,998	
使い捨て手袋M	100箱	84,700	
使い捨て手袋L	100箱	84,700	10箱
使い捨てガウン	1373枚		960枚
フェイスシールド	200枚		100枚
アルコール 一斗缶			2缶
アルコールクリーン80 5ℓ	15本	99,000	
紙コップ	3,000	12,150	
ウェットティッシュ	40個	6,240	
医療用ハイター 1.5 ^キ □	52本	30,680	
医療用ハイター 5 ^キ □	14個	20,230	
感染症ゴミ箱:20ℓ	9個	23,512	
感染症ゴミ箱:50ℓ	490個	2,156,000	
感染症ゴミ箱:箱タイプ1	1個	2,695	
感染症ゴミ箱:箱タイプ2	12個	41,910	
弁当箱	3000本	27,535	
はし	3000本	3,465	
		2,609,335	

* 上記使用状況については、一つの課での使用状況であり、施設全体では3倍以上の使用量が想定される。

3人死亡、223人新規

新型コロナウイルス感染症を巡り、県内で12日、宿泊療養施設で療養中に亡くなった男性を含め3人の死亡が明らかになった。新規感染者数は10歳未満100歳代の男女223人に上り、このうち113人は感染経路が不明という。

横浜によると、亡くなった80代男性は11月27日に陽性が判明し、同日から入院。死因は新型コロナウイルス感染症だった。70代女性の死因は感染症による肺炎。11月17日に陽性と分か

り、入院していた。市内では、3件のクラスター（感染者集団）が新たに確認された。これまで生徒4人が感染していた県立

高校では、さらに生徒3人と教員1人の感染が判明。14日から臨時休校とし、生徒と教員計292人のPCR検査を行う。

川崎市川崎区の高齢者福祉施設でも医療従事者ら計11人が感染し、クラスターに。横須賀市では、市立市民病院の感染症病棟に

たに利用者2人が陽性となり、同施設での感染者数は計5人。接待を伴う飲食店で従業員3人の感染が明らかになり、同店での感染者数は計7人に増えた。

勤務する50代の女性看護師の感染が判明し、同病棟の感染者数は計4人となった。

県は同日、厚木市の知的障害者施設「厚木精華園」

で、入所する70代男性と40代の男性職員の感染が判明したと発表した。職員は入所男性が生活するフロアで働いていたという。（報道部）

国内重症者最多578人

東京は621人感染

国内で12日、新たに3041人の新型コロナウイルス感染者が確認され、過去最多を更新した。3千人を超えたのは初めて。重症者も24人増えて過去最多の578人となった。

これまでの感染流行は急増する地域が限定的だったが、11月以降の「第3波」は都市部から各地に広がった。地域によっては医療体制が脆弱で、年末年始を迎えるに当たりさらなる警戒が必要だ。岩手、山形、埼玉、東京、長野、岐阜、高知の7都県で1日当たりの最多を更新した。

横浜 市	7189 (130)	南足柄 市	22 (1)
川崎 市	3233 (54)	綾瀬 市	117 (1)
相模原 市	909 (8)	綾瀬 市	20
横浜 市	556 (7)	綾瀬 市	49
横浜 市	199	綾瀬 市	21
鎌倉 市	191 (1)	綾瀬 市	11
藤沢 市	605 (5)	綾瀬 市	2
小田原 市	111 (2)	綾瀬 市	7
茅ヶ崎 市	240	綾瀬 市	3 (1)
三浦 市	69 (2)	綾瀬 市	0
三浦 市	30	綾瀬 市	10
三浦 市	118	綾瀬 市	9 (1)
三浦 市	320 (4)	綾瀬 市	2
三浦 市	308 (5)	綾瀬 市	11
三浦 市	58	綾瀬 市	80
三浦 市	147	綾瀬 市	1
三浦 市	158 (1)	綾瀬 市	16
計	14822 (223)	綾瀬 市	225 (3)

入院患者数 重症 55 軽症 無症状 29
(10日現在) 中等症 343

県内121人感染、1人死亡

新型コロナウイルス感染症を巡り、県内で14日、新たに10歳未満、90代の男女121人の感染が確認された。うち57人が感染経路不明。横須賀市では80代男性の死亡が報告された。

同市によると、男性は13日に止まった。感染判明時は軽症とされ、基礎疾患があったという。

横浜市内では、市内私立高校の男子生徒が陽性と判明。これまでに生徒ら4人が感染しており、市は新たなクラスター（感染者集団）と認定した。すでにクラス

ターが起きた施設でも新規感染者が相次ぎ、市立中の感染者は計13人、障害者入所施設は計45人、有料老人ホームは計16人となった。

県によると、すでに2人の感染者が出ていた県立知的障害者施設「厚木精華園」（厚木市）で、入所者8人を含む計11人の陽性が判明。感染者は13人となり、県はクラスターが発生したとみている。

一方、横浜市は8月6日と11月26日の感染者数をそれぞれ重複計上したとして、両日の感染者数を各1人減らすと発表した。

※単位は人、カッコ内は前日比増加数。各保健所の発表分を集計。クルーズ船感染者は除く。居住地のほか医療機関所在地なども含まれる。症状別内訳は県発表

横浜市	22	南足柄市	22
川崎市	120(1)	綾瀬市	20
相模原市	50(1)	寒川町	22(1)
横須賀市	12(1)	二宮町	2
鎌倉市	7	大井町	4(1)
藤沢市	0	松田町	10
小田原市	9	山北町	2
茅ヶ崎市	11	箱根町	11
厚木市	81	奥平町	1
大和市	16	湯河原町	
伊勢原市		愛川町	
海老名市		調布市	
座間市		その他	
計	15172(121)	死者数	226(1)

入院患者数 重症 53 軽症 無症状 32
(11日現在) 中等症 344

13日は10歳未満、90代の男女231人の感染が確認され、このうち感染経路不明は98人だった。

◇ 相模原市は14日、米陸軍

(報道部)

横浜刑務所や 県警でも判明

県所管域、最多53人

新型コロナウイルス感染症を巡り、県所管域では17日、過去最多の53人の感染を確認した。クラスター(感染者集団)が発生している厚木市の県立障害者施設「厚木精華園」では職員と入所者の計7人の感染が判明。同園の感染者は計20人となった。県温泉地学研究所(小田原市)研究員の50代男性の感染も確認された。県警は、栄署の60代男性職員と横須賀署の20代男性

※単位は人、カッコ内は前日比増加数。各保健所の発表分を累計。クルーズ船感染者らは除く。居住地のほか医療機関所在地なども含まれる。症状別内訳は県発表

横浜市	7754(153)	南足柄市	24(1)
川崎市	3503(76)	綾瀬市	130(2)
相模原市	977(21)	山崎町	21(1)
横須賀市	609(13)	寒川町	51
鎌倉市	213(5)	磯谷町	23
藤沢市	204(6)	大磯町	13
茅ヶ崎市	652(7)	宮井町	2
小田原市	119(2)	大井町	7
厚木市	264(5)	松田町	5
相模原市	74(2)	北成町	0
鎌倉市	31	山北町	10
藤沢市	120	開成町	9
茅ヶ崎市	347(8)	箱根町	2
厚木市	346(12)	真鶴町	11
相模原市	62(2)	湯河原町	81
小田原市	154(2)	愛川町	1
厚木市	168(1)	清川村	16
相模原市		その他	
計	16006(319)	死者数	230(1)

入院患者数 重症 52 軽症無症状 31
(16日現在) 中等症 395

17日現在の県内市町村別感染者数

調査の感染を公表。横浜刑務所(横浜市港南区)では、労役場に留置されていた60代男性の感染が判明した。

在日米海軍厚木基地(大和、綾瀬市)は17日、基地関係者1人の感染を発表した。(報道部)

2020. 12/21
 神奈川県新聞

※単位は人、カッコ内は前日比増加数。各保健所の発表分を累計。クラスター感染等には除く。居住地のほか医療機関所在地なども含まれる。症別別内訳は厚労省発表

横浜	市	8236(138)	南足柄	市	24
川崎	市	3637(25)	綾瀬	市	136
相模原	市	1011(9)	寒川	町	22
相模原	市	658(14)	大磯	町	55(3)
平塚	市	226	二宮	町	24
鎌倉	市	217(11)	中井	町	13
藤沢	市	670(4)	大井	町	2
小田原	市	120	松田	町	10
茅ヶ崎	市	286(13)	山北	町	6
逗子	市	75	開成	町	0
三浦	市	36	箱根	町	10
厚木	市	129(1)	湯河原	町	9
大和	市	360(6)	愛川	町	2
伊勢原	市	366(7)	清川	村	11
海老名	市	68(3)	その他		83
座間	市	160(3)			1
		173(2)			16
計		16852(239)	死者数	238(1)	

20日現在の県内市町村別感染者数

重症 50 中等症 409

入院患者数 17日現在

県内239人感染 1人死亡

新型コロナウイルス感染症を巡り、県内で20日、10歳未満、100歳以上の男女計239人の感染と1人の死が判明した。新規感染者のうち119人の感染経路が不明だった一方、各地の学校などでクラスター（感染者集団）が相次いで確認された。

相模原市によると、亡くなったのは100歳以上の女性。クラスターが起きた市内の特別養護老人ホームの入居者で、2日に感染が判明していた。

6件のクラスターが確認された横浜では、生徒2人と教員が感染した市立中学校で新たに女子生徒2人の陽性が判明。市内ではこのほか、食品関係の工場や美容室、障害者通所施設、介護老人保健施設、有料老人ホームで職員や利用者らの感染が増え、クラスターとなった。

県や鎌倉市によると、市立玉縄小で児童11人の感染が新たに分かり、クラスターとなった。16日に児童の感染が確認され、18日に児童と職員計132人がPCR

R検査を受けた。21日以降児童約400人のPCR検査を行う。

川崎市内では、宮前区の市立宮崎中、野川中、有馬中の生徒計10人の感染が分かった。3校は濃厚接触者が判明するまで、21日から臨時休校する。

東京、今月1万人超

東京都は20日、新型コロナウイルスの感染者が新たに556人報告されたと発表。12月は月ごとの合計で初めて1万人を超え、1万507人となった。直近7日間で平均した1日当たりの感染者数も603人で初の600人台に達した。累計は5万1446人となった。

平日と比べて感染者数が少ない傾向がある日曜日は過去最多。小池百合子知事は都庁で報道陣の取材に「これからさらに引き締めが必要と考えている」と述べた。

都によると、前日から入院患者数は27人減の2107人、うち重症者は4人増

既にクラスターが確認された厚木市の知的障害者施設「厚木精華園」の入所者と職員各2人が新たに陽性となり、同施設関連の感染者は24人となった。茅ヶ崎市内の高齢者施設でも、利用者と職員ら計7人が陽性となり、同施設の感染者は計8人となった。

また、県は16日に発表した感染者のうち、藤沢市としていた30代男性会社員の居住地が海老名市だったと訂正した。

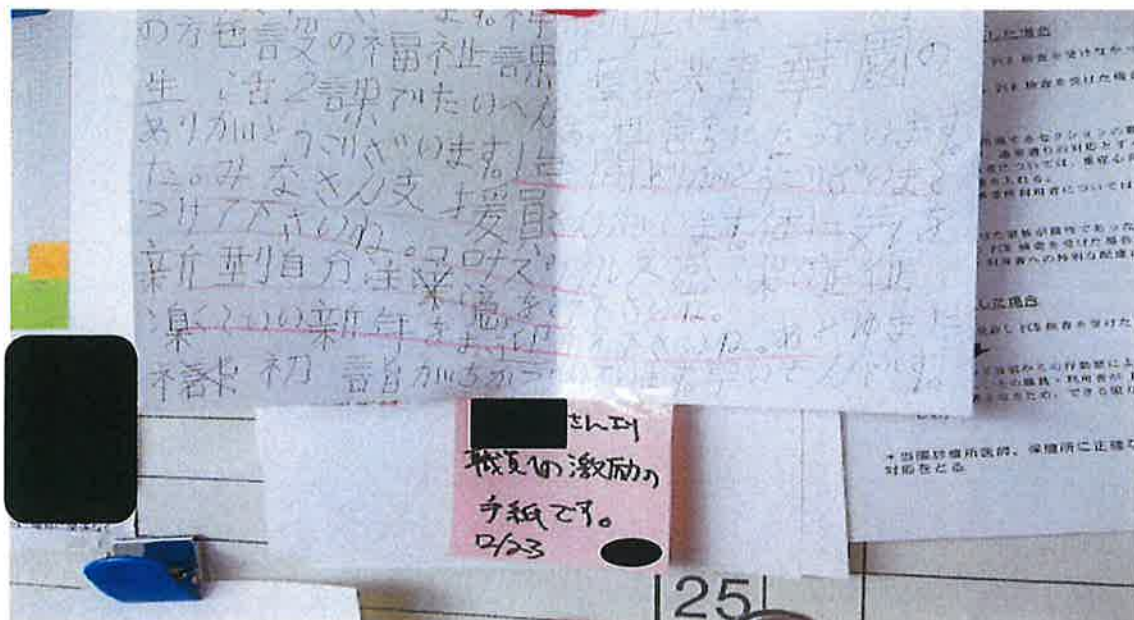
(報道部)

の66人。新規感染者の年代別では20代の150人と30代の111人が3桁。65歳以上の高齢者は73人だった。

感染経路が不明だったのは320人。判明している236人のうちでは最多が家庭内の101人だった。医療機関では8施設の28人、高齢者関連では7施設で14人などの感染が確認された。

都内は感染状況が深刻度を増しており、17日に医療提供体制に関する警戒度の指標を4段階で最も深刻な「逼迫している」に引き上げた。小池氏は「年末年始コロナ特別警報」として強く警戒を促している。

【利用者からの励ましの手紙】



コロナ禍の中、元気で過ごされた2課利用者の方からの心温まるメッセージです。